

コスタリカ内政・外交定期報告（2022年8月）

2022年8月の当国内政・外交主要事項を以下のとおり報告申し上げます。

【要旨】

内政

- 1 チャベス政権の支持率等世論調査結果（調査実施日：7月11日～20日、コスタリカ大学開発観測研究センター）
- 2 国民解放党執行部役員の解任
- 3 チャベス大統領による政権発足100日報告会講演概要
- 4 チャベス政権の支持率等世論調査結果（調査実施日：8月16日～19日及び22日～23日、コスタリカ大学政治調査研究センター）

外交

- 1 チャベス大統領とペトロ・コロンビア新大統領との会談
- 2 駐コスタリカ中国大使による国会におけるペローシ米議会下院議長の訪台への批判

【各論】

内政

- 1 チャベス政権の支持率等世論調査結果（調査実施日：7月11日～20日、コスタリカ大学開発観測研究センター）

(1) 調査結果（調査実施日：7月11日～20日、対象人数：518人、電話回答。誤差4.3%ポイント）

ア チャベス政権の評価

- (ア) 非常に良い：35.6%
- (イ) 良い：34.5%
- (ウ) 普通：21.6%
- (エ) 悪い：4.4%
- (オ) 非常に悪い：2.3%
- (カ) 無効回答：1.7%

イ 各県におけるチャベス政権への評価

(ア) サンホセ県

- 「非常に良い」または「良い」：66.1%
- 「非常に悪い」または「悪い」：8.2%

(イ) アラフエラ県

- 「非常に良い」または「良い」：83.4%

- 「非常に悪い」または「悪い」：4.9%
 - (ウ) カルタゴ県
- 「非常に良い」または「良い」：73.6%
- 「非常に悪い」または「悪い」：9.5%
 - (エ) エレディア県
- 「非常に良い」または「良い」：67.9%
- 「非常に悪い」または「悪い」：5.9%
 - (オ) ナカステ県
- 「非常に良い」または「良い」：60.9%
- 「非常に悪い」または「悪い」：6.0%
 - (カ) プンタレナス県
- 「非常に良い」または「良い」：72.4%
- 「非常に悪い」または「悪い」：3.8%
 - (キ) リモン県
- 「非常に良い」または「良い」：63.8%
- 「非常に悪い」または「悪い」：5.3%
- ウ 現在までにチャベス大統領が行った最も評価できる施策
 - (ア) その他：20.6%
 - (イ) わからない：17.3%
 - (ウ) 汚職対策：13.3%
 - (エ) 7月2日に発生した自然災害（暴風雨）への対応（サン・カルロスの橋の建設等）：7.3%
 - (オ) ワクチンとマスクの義務の撤廃：6.5%
 - (カ) 車両検査機関（Riteve）の撤廃：5.5%
 - (キ) 貧困削減：5.3%
 - (ク) 贅沢な年金制度の撤廃：4.9%
 - (ケ) コメの値下げ：4.3%
 - (コ) 無し：3.8%
 - (サ) 燃料価格高騰対策：3.7%
 - (シ) 「パルケ・ビバ」（大手メディア・ナシオングループが所有するイベント・センター）の閉鎖：1.9%
 - (ス) 閣僚の待遇改善：1.6%
 - (セ) FARO テストの撤廃：1.5%
 - (ソ) 無回答：1.4%
 - (タ) 不必要な賃貸（alquileres innecesarios）の撤廃：0.8%
 - (2) 「セマナリオ・ユニベルシダ」の分析

ア 同世論調査の回答者全体の70.1%が、チャベス政権を「良い」または「非常に良い」と答えた一方で、全体のわずか6.7%が「非常に悪い」または「悪い」と回答した。右を踏まえると、チャベス大統領は、就任後100日間で、コスタリカ国民の多くの支持を集めていると言える。

イ 最も評価が高いチャベス大統領の施策は汚職対策(13.3%)であり、国民から好意的に捉えられている。また、サン・カルロスの橋の建設やコメの値下げ等、世論調査実施期間中に未実施の施策についても高い評価が為された。

2 国民解放党執行部役員解任

(1) 8月3日午後、野党国民解放党(PLN)の党執行部において、同執行部の全役員(5名)を解任する動議が全会一致で可決された。右動議は、同執行部の部長を務めるカティ・リベラ議員により提出された。

(2) 右動議が可決されたことにより、同執行部における在任が問題視されていたグスタボ・ビアレス書記長(元国会議員)も解任となる(※ビアレス書記長は、2021年4月に当時国会の治安・麻薬組織対策委員長でありながら、ある国内麻薬密輸組織に対する検察庁などの強制捜査の前夜に、同組織代表の恋人の家にとりして検察庁の捜査対象となり、同党執行部からの一時的な離職を要請されたが、拒否していた。7月29日、ラウラ・チンチージャ元大統領(任期:2010~2014)は、PLNが党内幹部として問題のある人物を留任させており倫理的な手続きに関する決定を先延ばしにしている等、ビアレス書記長に係る問題を示唆する声明文を発表し、PLNからの離党を公表した)。

(3) 今後、10月15日に予定されている新執行部役員選挙の開催を可能にするために、9月24日に全国党大会が開催される予定。

3 チャベス大統領による政権発足100日報告会講演概要

8月16日、チャベス大統領政権発足100日報告会が実施されたところ、同式典におけるチャベス大統領の説明講演の概要以下の通り。同講演において、チャベス大統領は、重点分野として9つの政策領域を挙げ、今後に向けた施政方針を述べるとともに、政権発足後100日間に実行した関連政策の実績について説明した。

(1) 貧困削減・生活コストの削減

ア コメの価格を下げることを目的とした「コメの道(Ruta de Arroz)」の推進。右に関連し、チャベス大統領は、8月に行ったコメの関税を引き下げる政令への署名の成果を強調した。

イ 一部の企業による独占を引き起こす過度な価格規制の撤廃。右に関連し、チャベス大統領は、8月に行った海外で承認された医薬品の輸入規制緩和に関する政令への署名の成果を強調した。

ウ 高騰する燃料価格の上限を設定するための法案の国会への提出

エ 教育、公共事業のインフラ改善を目的とする保護債（Bono Proteger）の発行を通じたグアナカステ、リモン、プンタレナス等沿岸部地域の世帯の支援

オ 若者・女性の就業支援

カ 貧困地域の人々の必要な食糧ニーズを満たすための財政支援

キ 専門家職業団体によるサービスの最低料金の下限の排除

ク 本年10月の電気料金の削減の実施。チャベス大統領は、コスタリカの電力供給のほとんどが再生可能エネルギーで生産されており、電力公社（ICE）が同電力を中米に輸出しているため、この収入により電気料金が削減できる旨強調した。

（2）経済対策（生産性向上・雇用増大）

ア 起業を促進するための不要な手続きの簡素化

イ 開発銀行システム（SBD）改革の促進

ウ 先住民問題に関する技術委員会（Mesa Técnica de Asuntos Indígenas）を通じた先住民のための公共政策の構築

エ 就職活動支援。右に関連し、チャベス大統領は、労働者が企業とのマッチングや職業訓練を受けることができるオンライン・プラットフォームの創設の成果を強調した。

オ 環境の持続可能性に考慮した観光促進のためのプロジェクトの実施

カ 国外からのデジタル・ノマド誘致

キ 2023年に電力公社（ICE）による5Gネットワークの商業化の実現

（3）教育と文化

ア 公教育省、ユニセフ、マイクロソフトによるイニシアチブを通じた、27のデジタルスキル開発センターの設置

イ 国内の農村部におけるデュアル教育システムの推進

ウ サイバーセキュリティ強化トレーニングの推進

エ 西語と英語のバイリンガル教育の推進を通じたコスタリカの労働者の国際競争力の向上

オ 公立の教育機関の運営改革

（4）健康

ア 社会保険庁（CCSS）の病院の制度改革

イ 幼児教育及び栄養摂取総合ケアセンター（CEN-CINA I）の刷新

（5）インフラ

ア カルデラ港開発のための投資の促進。チャベス大統領は、カルデラ港は、太平洋に面し、コスタリカをアジアの巨大な市場及び米国と結ぶ最も重要な国内の港である旨強調した。

イ 「各県道路網第二プログラム」の発展及び強化

ウ 「リモンセンセ貨物電気鉄道計画」の推進

エ 「高速通勤電車計画」の推進

オ 国道27号線及び国道32号線の拡張工事の完了

カ リモン県における港の建設の推進

キ 首都サンホセとカルタゴを結ぶ道路建設プロジェクトの推進

ク 「ドライ・キャナル」プロジェクトのフィージビリティスタディの実施

(6) 治安

ア コスタリカにおける組織犯罪、殺人、暴力への対策の強化及び、同対策を通じたリモン・プンタレナス地域の再活性化

イ 刑務所システムの制度強化

ウ スキャナー等を活用した麻薬取締の強化

エ 学校におけるいじめへの対策

オ 女性に対する暴力への対策

(7) 外交・通商

ア 貿易・対外直接投資の促進

イ イスラエルとの二国間関係の強化

ウ エクアドルとの二国間F T A締結に向けた取り組み

エ 太平洋同盟への加盟交渉の再開

オ C P T P加盟に向けた取り組み

カ Intel や Samsung などの大手多国籍企業との会合を通じた、産業とテクノロジー分野における中米地域のパイオニアとしてのコスタリカのイメージ強化

(8) 財政改革

ア デジタルファイナンスの実施を通じた中央省庁コンピューターシステムの統合

イ グローバル所得税法案の推進

ウ GDPの約2.8%に相当する財源確保を目的とした、国営のコスタリカ銀行(B C R)、コスタリカ国際銀行(B I C S A)等の売却(※両方とも中央銀行(B C C R)とは別)

エ 国営企業であるコスタリカ保険公社(I N S)の49%の株式の公開

オ ユーロ債の発行、国内債券の国際市場への開放及び公的債務管理局の創設

カ 贅沢な年金の廃止を目的とした法案の国会提出。加えて、贅沢な年金の合憲性に関する判断を米州裁判所へ付託

キ 電話とインターネットが普及していない地域への普及の促進

ク 嗜好品大麻の合法化のための法案の促進

(9) 国家制度改革

ア 国家道路審議会(C O N A V I)等の中央省庁に附属する複数の公的機関の廃止

イ 政府のデジタル化の促進

4 チャベス政権の支持率等世論調査結果(調査実施日: 8月16日~19日及び22日~23日、コスタリカ大学政治調査研究センター)

(1) 調査結果

ア チャベス政権の評価

- (ア) 非常に良いまたは良い：79%
- (イ) 普通：12%
- (ウ) 悪いまたは非常に悪い：9%

イ 公約を果たす上で政府の障害となるものは何か

- (ア) 国会議員：50.8%
- (イ) 野党：13.6%
- (ウ) 公務員：9.4%
- (エ) マスメディア：8.0%
- (オ) 経済界：2.7%
- (カ) 労働組合：2.7%
- (キ) 腐敗した人々：1.6%
- (ク) その他：11.3%

ウ コスタリカの主要な問題は何か

- (ア) 生活コストと経済状況：42.4%
- (イ) 失業率：15.2%
- (ウ) 汚職：11.2%
- (エ) 治安と犯罪：7.3%
- (オ) 国の財政状況：4.3%
- (カ) 政府の運営：3.8%
- (キ) 貧困：3.7%
- (ク) 教育：1.4%
- (ケ) 燃料：1.2%
- (コ) 道路状態及びインフラ：1.0%
- (サ) 麻薬問題：0.9%
- (シ) 公共医療の問題：0.6%
- (ス) 新型コロナウイルス：0.2%
- (セ) その他：6.8%

(2) 同センター及び各メディアの分析

ア チャベス新政権発足100日後、コスタリカ国民はチャベス政権に対する高い支持率を示した。非常に良いまたは良いと回答した割合は79%、悪いまたは非常に悪いと回答した割合は9%であり、直近数十年における元大統領らの政権開始時とは比較することができないほど、高い支持率を得ている。

イ 他方で、政権交代以降も、コスタリカ国民の中で国内の経済状況に対する否定的な見方が強い傾向にあり、生活コストと経済状況、失業率、汚職がコスタリカを苦しめる中心的な問題として位置付けられている。

外交

1 チャベス大統領とペトロ・コロンビア新大統領の会談

(1) 8月6日、チャベス大統領は、ペトロ・コロンビア新大統領の就任式への出席のためコロンビアを訪問し、ペトロ新大統領との首脳会談を行った。同会談は約20分間続いた。

(2) 同会談において、チャベス大統領は、ペトロ新大統領の就任に祝意を述べつつ、移民問題、麻薬密売対策、安全保障、環境、国際協力など、コスタリカ・コロンビアの二国間関係の強化に焦点を当てた議題について意見を交わした。加えて、同会談において、チャベス大統領は、近い将来、ペトロ新大統領をコスタリカに招待する旨述べた。

(3) チャベス大統領は、「ペトロ新大統領と、海洋保護に関する協力、安全保障に関する協力、そしてコロンビアが加盟国であり、コスタリカが加盟を熱望している太平洋同盟等、コスタリカとコロンビアの両国が共有する関心領域に関して話し合った」旨述べた。

2 駐コスタリカ中国大使による国会におけるペローシ米議会下院議長の訪台への批判

(1) 8月10日、Tang Heng 駐コスタリカ中国大使は、国会の国際関係委員会において、中国・コスタリカの外交関係樹立15周年を祝う枠組みで中国の外交政策及び中国・コスタリカ関係に言及した際、ペローシ米議会下院議長の訪台に関する批判を行った。

(2) Tang 中国大使は、「世界に中国は一つしかなく、台湾は不可侵の領土である」旨主張し、ナンシー・ペローシ米議会下院議長による訪台は、「一つの中国」の立場の深刻な侵害であり、明白な政治的であると批判した。

(3) 野党拡大戦線（F A、左派）のソフィア・ギレン議員は、「一つの中国の立場に連帯し、西側諸国が人々の主権に関する国際的な尊重のためのプロセスを尊重することを願う」旨発言した。

(了)